

- ◆開催日 平成30年2月19日（月）
- ◆時間 午後2時 開会 午後4時30分 閉会
- ◆場所 生活文化総合センター 視聴覚室及び市内文化財等（現地視察）
- ◆出席委員 佐野允彦、瀧原 務、足立裕司、大平 茂、芝本 満、埴岡真弓（敬称略）
- ◆事務局 笹倉教育長 森脇教育部長 福田生活文化総合センター館長

1 開 会

委員全員の出席により会議成立

2 辞令交付

教育長から各委員に委嘱状を交付

3 自己紹介

4 教育長あいさつ

5 会長、副会長選出

会長に佐野允彦委員、副会長に瀧原務委員を選出

6 会長あいさつ

7 協議報告事項

○事務局

資料「協議報告事項資料」より

平成29年度文化財関係事業報告及び平成30年度文化財関係事業計画の説明

○委員

文化財防火デーの実施内容は、どのようなものか。

○事務局

西脇消防署との共催で、1月24日に西林寺に於いて模擬消火訓練を実施した。

寺西側の山林から出火したとの想定で、文化財搬出訓練、消防隊による放水訓練、関係者による初期消火訓練等を行った。

○委員

無形民俗文化財調査について、市指定文化財の「木造大日如来坐像」を薬師堂へ移動した経緯について説明を求める。

○事務局

従来は年に一度、市指定文化財「写経大般若経、春日版大般若経及び経櫃」のみを搬出して転読の儀式をしていたが、今回は、何十年振りかで坐像を拝みたいとの地元からの要望があり、搬出となった。

○委員（瀧原）

県指定文化財補助事業計画ヒアリングにおいて長期計画に挙げている莊嚴寺の多宝塔

修理についての県の感触は、どのような感じか。

○事務局

県には毎年、5カ年、10カ年の計画を提出しており、今年度もヒアリングに行ったが、県からは「中長期的なレベルで考えてほしい」と言われている。兵主神社についても、県としては、中長期的に検討している、とのことであった。

○委員

埋蔵文化財の分布調査的なことについての計画はないのか。

○事務局

前々からの懸案事項ではあるが、具体的な計画は立てていない。黒田庄町と合併して以降、新市としての分布地図は作成されていない。人的になかなか難しい点があるが、できるだけ対応はしたいと思う。

○委員

「無形民俗文化財調査」は「兵庫県の祭り・行事調査」の関連で行っているものか。

○事務局

県で進められており、この機会に地域の祭りや行事について調査を行っている。

8 その他

○委員

比延の公民館が登録文化財にかけられないかと思っている。簡単に審査にかけることができると思う。

○会長

来月に文化財保護法の改正案が国会に提出される。各市町村で地域レベルの文化財保護計画を策定しなさい、ということと、次に地域の文化財を観光資源としても積極的に活用しなさい、ということが謳われている。専門職員一人、事務員一人の増員が必要と思われる。

9 市内文化財等の現地視察

- (1) 西脇小学校木造校舎の改修工事現場
- (2) 西仙寺熊野権現社（県指定文化財）
- (3) 市道市原羽安線開発工事に伴う埋蔵文化財発掘調査現場

10 閉会